

報道機関各位

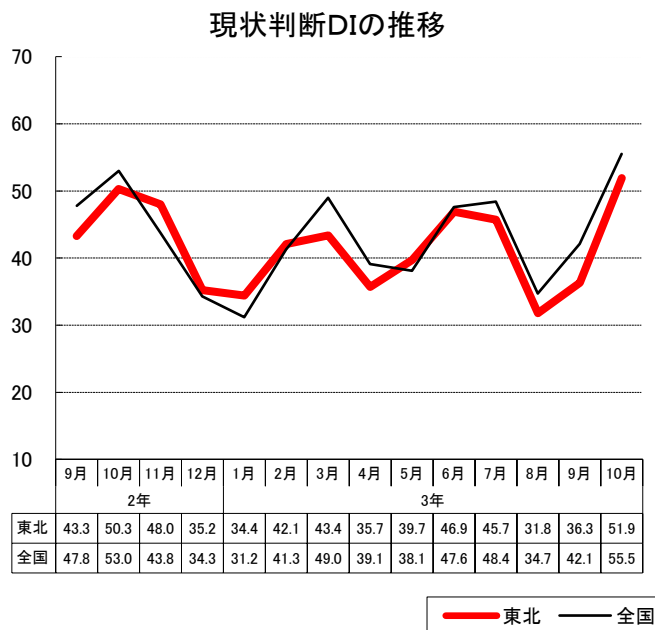
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年10月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年10月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

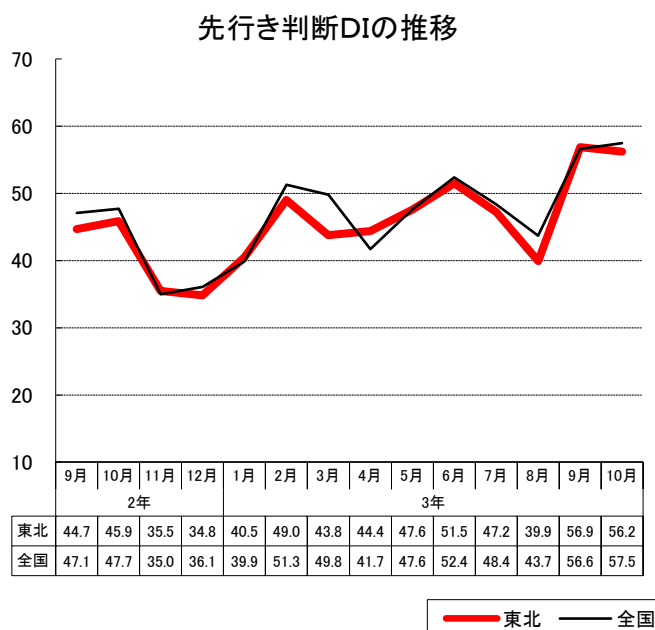
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「51.9」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+15.6ポイント上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

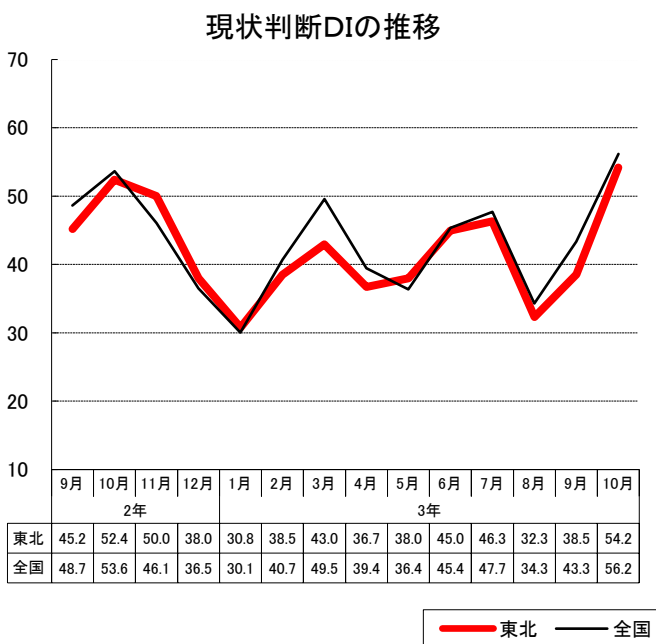
先行き判断DIは「56.2」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.7ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「54.2」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+15.7ポイント上昇した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、スーパー等の業種でDIが前月を下回ったが、衣料品専門店、一般レストラン、コンビニ等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「51.8」(+15.0)と、2か月連続で前月を上回った。

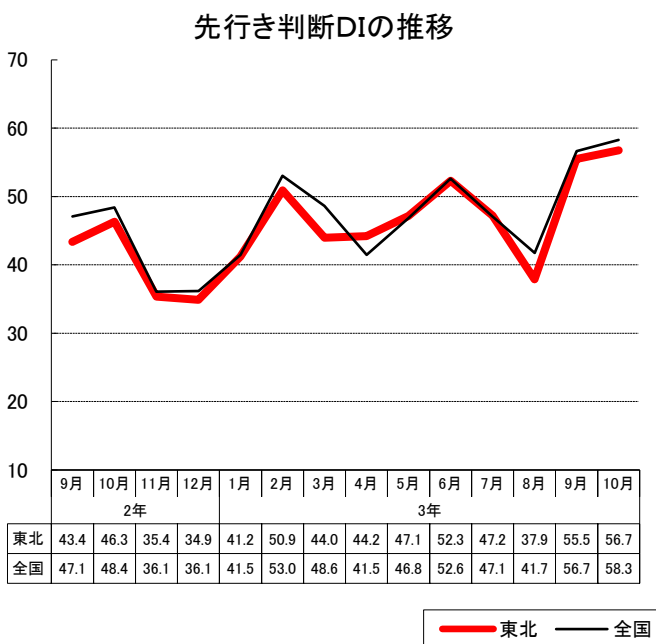
○企業動向関連…電気機械器具製造業、農林水産業の業種でDIが前月を下回ったが、食料品製造業、金融業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「56.6」(+13.2)と、2か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「64.5」(+24.5)と、前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「56.7」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.2ポイント上昇した。



○家計動向関連…美容室、商店街、コンビニ等の業種でDIが前月を上回ったが、スーパー、衣料品専門店、乗用車・自動車備品販売店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「53.7」(▲0.2)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○企業動向関連…その他非製造業[飲食料品卸売業]、広告代理店・広告業協会、輸送業等の業種でDIが前月を下回ったが、食料品製造業、出版・印刷・同関連産業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「58.1」(+1.5)と、2か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「72.4」(+9.9)と、2か月連続で前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	2年				3年									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北現状	45.2	52.4	50.0	38.0	30.8	38.5	43.0	36.7	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2
家計動向関連	44.6	51.2	47.7	35.1	27.7	35.4	40.5	32.6	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8
企業動向関連	47.7	55.1	56.6	44.1	34.8	45.6	50.8	46.3	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6
雇用関連(参考)	45.0	55.0	52.5	45.0	42.5	45.0	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5

（2）先行き判断D I

	2年				3年									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北先行き	43.4	46.3	35.4	34.9	41.2	50.9	44.0	44.2	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7
家計動向関連	41.1	44.1	32.4	32.4	41.3	50.8	45.0	43.3	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7
企業動向関連	48.5	50.0	44.1	42.6	43.2	54.4	40.9	46.3	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1
雇用関連(参考)	48.8	53.8	38.8	36.3	37.5	45.0	42.5	46.3	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和3年10月25日～31日

回答者数 167/189 名、回答率 88.4%（全国 1,811/2,050 名、88.3%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（一般小売店[医薬品]）…新型コロナウイルスに関係した抗原キットが販売できるようになり、その分が上乘せられている。また、化粧品の新製品が好調に推移している。

（一般レストラン）…今月初めから緊急事態宣言が明けて、人の流れが良くなっている。後半にかけて来客数や予約数がどんどん増えており、良くなっている。

（観光型旅館）…圧倒的に来客数が伸びている。3か月前は週末だけ多かったが、今月は宿泊者数だけでみると3倍の違いがある。

（建設業）…民間の大型設備投資を始め、多数の受注があった。

（人材派遣会社）…9月の終わり頃から緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除を見込んで各企業が求人を探し始めている。今月に入り、派遣会社や事務員の募集、小売店の販売業募集等で企業の採用単価が前月よりも大幅に上がってきている。

○「やや良くなっている」

（百貨店）…ワクチン接種が進み、気温が下がったことで購買意欲が戻ってきている印象が強い。コロナ禍で減っていた家族連れやグループでの来店がこの1か月で増加している。

（衣料品専門店）…10月初めは景気が動いていないという状況であったが、週を追うごとに新型コロナウイルスの新規感染者数が減って、出張のほか、表彰式や結婚式といったいろいろな行事が増加してきたので、少しずつ上向きになりつつある感じがある。

（その他専門店[白衣・ユニフォーム]）…宣言が明けて少しずつではあるが動き出してきた感じがある。飲食店や観光業はまだまだ客足は戻っていないが、それでも多少なりとも活気が出ているようである。今後に向けての準備なのかもしれないが光が見えてきた。

（その他小売[ショッピングセンター]）…感染拡大が急速に収まってきて、客足がかなり戻ってきている印象を受ける。ただ、まだまだ購買にはつながっていないので、今後につながることを期待している。

（高級レストラン）…レストランのランチ、ディナーの客が増えている。

（旅行代理店）…各県で宿泊の県民割プランが復活していることや、緊急事態宣言が解除され新規感染者数が減ってきていることにより販売量が増えている。

（遊園地）…まん延防止等重点措置の終了と新規感染者数の減少により、客のマインドが好転し、県内中心ながら学校団体の入園もあり、ようやく前年同様の推移となっている。

（食料品製造業）…県の緊急事態宣言解除後、店舗の売上が少しずつではあるが右肩上がりになっている。駅周辺の人や車の往来も増えてきており、また飲食店においては家族連れも多くみられるようになった。県独自で実施している食事券の利用も増えてきている。

（輸送業）…ワクチン接種率が70%近くまで進捗し、新規感染者数は全国的に日を追うごとに減少してきている。これにより、延期になっていた業務が再開になったり、新規の発注が出てきたりしている。今月の売上はようやく前年を超える水準になり、前々年比較だと95%まで回復することが予想される。

（金融業）…依然として観光宿泊関連はペースが戻らないものの、休日の街中や商業施設ではにぎわいを取り戻しつつある。当地では緊急事態宣言等が発出されたわけではないが、全国的な新型コロナウイルス対応緩和による心理的な影響が顕著になっている。

（広告業協会）…急激な新規感染者数減少に伴い、10月に入ってから旅行会社からの広告出稿が目立ってきた。これにイベントが通常開催になるようであれば、広告業界全体の底上げが期待できる。

（新聞社[求人広告]）…旅行業を中心に広告出稿の問合せが増加してきている。他業種でも前向きな相談が増えてきている。また、緊急事態宣言解除に伴い、夜のアルコールを伴う飲食の機会が増えている様子である。新

型コロナウイルス対策をしっかりとした個室のある飲食店では満席が続いている。

(職業安定所) …求人数は製造業だけでなく、小売業、飲食業、宿泊業を含め全体的に増加傾向となっている。

労働力の不足を訴える事業所が多くなっており、成長の阻害要因になっているとみられる。

○「変わらない」

(商店街) …ワクチン接種が進み新規感染者数は大幅に減少したものの、冬にかけて再び第6波の感染拡大が懸念されることから、景気は横ばいとなっている。

(コンビニ) …ワクチン接種が進んで10月後半より順次客の動きが出てきているが、まだ警戒感が強く新型コロナウイルス発生前のような気軽に外出、外食する動きは見受けられない。様子を見ている状態である。

(タクシー運転手) …サラリーマンのタクシー利用は県外からの出張者が多く、市内勤務者は極少である。また、高齢者の利用頻度は今月も極端に少なくなっている。

(通信会社) …客の設備投資意欲に変化はみられない。

(設計事務所) …新規引き合いが届いており、一定の需要はあるとみられるが、景気が改善するような全体的な話ではない。

○「やや悪くなっている」

(スーパー) …新規感染者数の減少によるリベンジ消費の増加から内食需要が下がっている。新規感染者数が増加して巣籠りによる内食需要が増加した前年の冬と比べると反動減が大きくなっている。季節の地域イベントの自粛も消費活動に大きく影響している。

(住関連専門店) …新型コロナウイルス感染症は新規感染者数が減少傾向にあるが、客の入りが少なく、高齢者の購買にはまだまだ結び付いていない。買物は様子見という人が多いようである。

(美容室) …3か月前の来客数は前年比で100%を若干下回る数字であった。前月は緊急事態宣言があったので約88%であった。今月は前年比約92%となり僅かずつ戻ってきている。しかし、どういうタイミングでどこまで伸びてくるかは見通せない。

(電気機械器具製造業) …取引先が所有している各設備については、予防保全ではなく事後保全での対応に移行して修繕費抑制を図っている。また、経年劣化や不具合発生に伴う設備更新において、既設納入メーカー特命発注ではなく、競争発注による調達が増加している。

○「悪くなっている」

(乗用車販売店) …メーカーの生産遅れが長引いている影響で足元収益がかなり悪い。サービス含むバリューチェーン領域でカバーし切れないうところまで来ている。

(その他住宅[住宅展示場運営会社]) …住宅ローン減税の注文住宅対象期間が9月に終了したこともあり、10月の来場組数は前年比85%、過去5年平均比70%となる見込みである。11月からは気温も下がり、来場動機になる要素も少ないことから、12月までは厳しい状況が続くとみている。

(農林水産業) …農協の米の概算金が決まったが、米価の下落は例年にないほどとなっている。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(旅行代理店) …第6波さえ来なければ、Go Toキャンペーンなどの国の施策もフォローに働き、今以上に良くなるとみられる。

(人材派遣会社) …各派遣会社とのやり取りから、企業からの問合せが増えてきており、求人意欲が非常に高くなっていることを感じている。この傾向は、現在新型コロナウイルスの感染が収束している状況での年末を見据えた企業の経済活動の現れとみている。求人の数が増えていることや派遣会社への問合せが前月より大幅に増えてきていることから、今後も回復基調が継続するのではないかとみている。

○「やや良くなる」

(コンビニ) …第6波次第だが、コロナ禍は収束しつつあり、年末年始は例年と同様の動きとなる可能性がある

と見込んでいる。

(衣料品専門店) …これから新型コロナウイルスの新規感染者数が減り、景気回復のカンフル剤となるG o T oキャンペーンなどの経済政策によって、これまで金が回っていなかった飲食や宿泊、我々のような出張や晴れの日に関連したマーケットが動いてくるようになると、経済は順調に回り出すとみており期待している。

(美容室) …年末から新年に掛かる時期であり、それなりに需要は上がってくるため今年よりは良くなる。しかし、景気がどこまで良くなっていくのかという心配は残っている。

(その他住宅[住宅展示場運営会社]) …1月は年間平均の中でも来場組数が高い月となるため、良くなるかとみている。ただ、未就学児がいるファミリー層の来場は見込めないため、来場は微増と見込んでいる。

(食料品製造業) …このまま新型コロナウイルス感染が収まってくれば、人の動きも良くなり売上の回復も見込める。感染の再拡大だけが心配である。

(出版・印刷・同関連産業) …年度末に向けて売上が上がると予想している。

(経営コンサルタント) …冬を迎えて新型コロナウイルス第6波が来襲しなければ、年末にかけて確実に景気は上向く。

(新聞社[求人広告]) …新型コロナウイルス感染の鎮静化により社会生活が徐々に回復するとみている。

(職業安定所) …新規求人数と有効求人数について前年の9月と今年の9月を比較すると、新規求人数で約300人、有効求人数で約500人増加している。また、自動車メーカーの減産体制が今年の11月で終了し、12月から通常の生産体制に戻るとの情報があり、自動車部品製造工場での懸念が払拭されている。

○「変わらない」

(商店街) …新型コロナウイルス新規感染者数減少に伴い飲食店や観光等、若干の回復が見込まれるが、消費者の財布のひもは固く、景気回復には時間を要する。

(百貨店) …感染状況に変化がなければ、今後も回復傾向が続くと予想する。急激な回復は難しいが、買物を楽しんでいる様子からウィズコロナの新しい生活スタイルとして定着し継続するとみている。

(遊園地) …ワクチン接種は進展しているが、他方で第6波の懸念とガソリン価格の高騰がある。前年程度を期待したいが、景気の先行きは不透明である。

(土石製品製造業) …先行きは不透明であるが、需要面、景気の面でも明るい話題がない。

(輸送業) …新型コロナウイルス新規感染者数が減少してきたことで、景気は少し上向いていくとみているが、第6波と原油価格の高騰が懸念材料である。特に原油価格高騰は、業界として燃料代がもろに影響を受けるほか、石油製品であるタイヤやエンジンオイル等々も値上がりするので、業績を圧迫することが予想される。

(広告業協会) …第6波が来るかどうかで状況が一変する不安定な状態では、見通しを判断するのは難しい。現状が続くようであれば、街中に人が戻って経済活動が活発になり、2年ぶりに広告業界の業績が改善することが期待できる。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …県内に居住する人の外食は回復していくとみている。一方で、観光関係は回復に至らない。

○「やや悪くなる」

(スーパー) …緊急事態宣言が解除され、内食需要が減り、スーパーにとっては大きな打撃になる。来客数の減少に拍車が掛かるとみている。また、第6波も大きな懸念材料である。

○「悪くなる」

(乗用車販売店) …新車納車が遅れている影響で、特に中古車販売の在庫不足が深刻な状況である。それに引きずられる形でオークション相場も高騰しているため、総じて回転の悪い市場環境である。価格面で購入を見送る客も多い。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。 以上